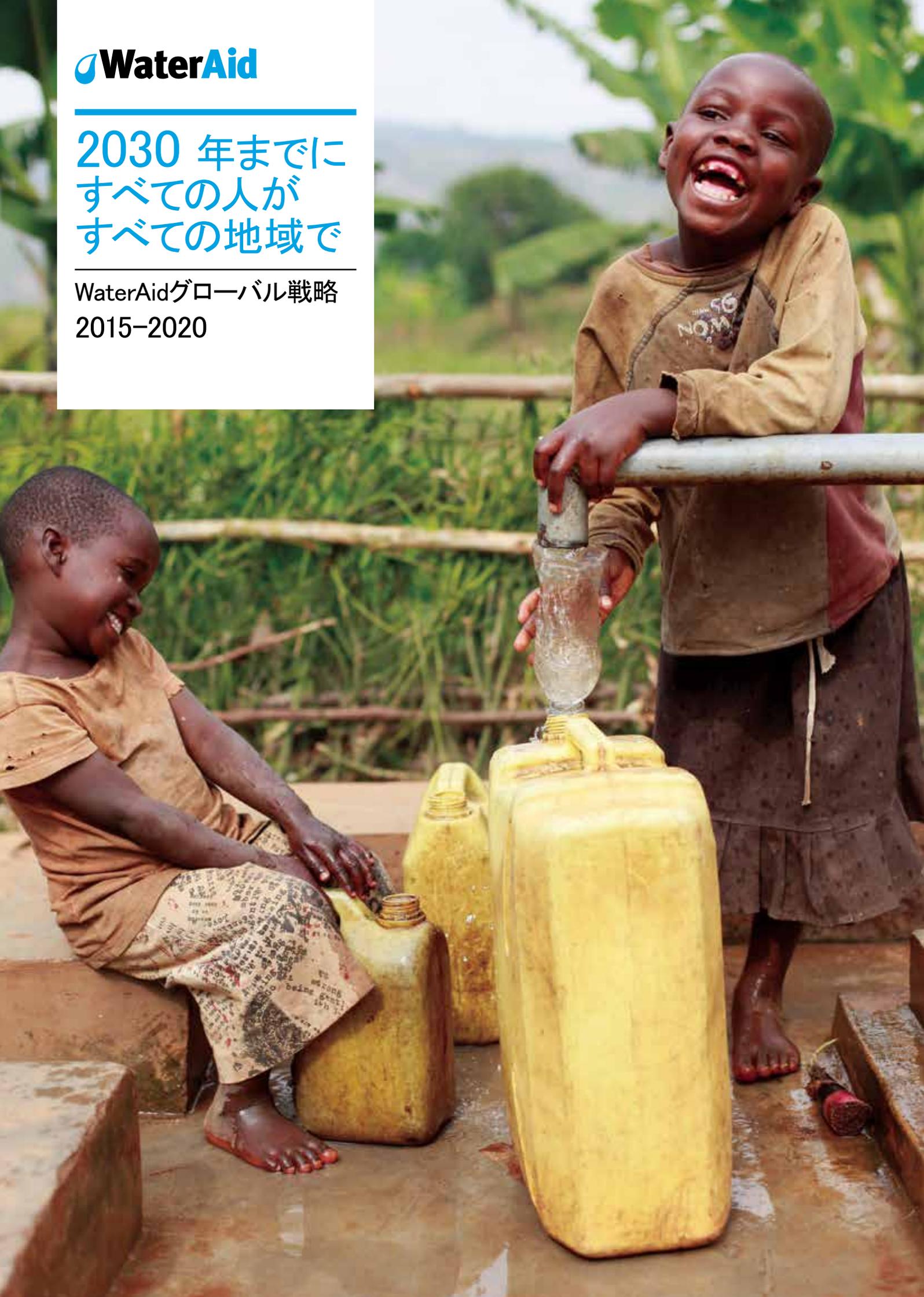




2030 年までに
すべての人が
すべての地域で

WaterAidグローバル戦略
2015-2020



私たちは、WaterAid です

WaterAid のビジョン

すべての人が、すべての地域で、
安全な水と衛生を利用できる世界。

WaterAid のミッション

世界で最も貧しく社会的に取り残されている人々に
安全な水と衛生環境を届けることによって、
その人々の暮らしを変えていくこと。

WaterAid の価値基準

WaterAid の価値基準は、WaterAid のあり方を明確に示し、
世界各国における WaterAid のあらゆる活動の柱となるものです。
WaterAid はどのような団体で、どのような活動を、どのように行うのか
— その根幹をなしているのが、この 6 つの価値基準です。

尊厳

WaterAid は、すべての人の尊厳を尊重し、
より良い世界の実現に向けて、
すべての人の権利と貢献を支持します。

協力

WaterAid は、他者と協力して活動の効果を
最大限に高め、多様性や違いを尊重しながら
共通の目的を追求していきます。

責任

その人々の生活が改善されることを WaterAid
が願っている人々、WaterAid が共に活動する
人々、WaterAid を支援してくださる人々に対し
て、WaterAid は説明責任を果たします。

革新

WaterAid は、創造的であり、迅速に行動し、
常に学び続け、変化のスピードを速めるために
リスクを取ることを厭いません。

勇気

WaterAid は、大胆かつ精力的に
活動と発言を行い、妥協することなく断固として
WaterAid のミッションの遂行を目指します。

健全

WaterAid は、誠意と信念をもって行動し、
一貫して寛容、平等、人権を旨とする
活動を行っていきます。

表紙写真: 村に新しくできたポンプから衛生的で安全な水をポリタンクいっぱいにくむジャネットちゃん(4歳) - ルワンダ、ブゲセラ郡

WaterAid/Zute Lightfoot

裏表紙写真: 新しい給水所で友だちと遊ぶアンドレアーナちゃん(4歳: 写真中央) - 東ティモール

WaterAid/Tom Greenwood



目次

4-7	はじめに
8-11	機会と課題
12-13	WaterAidのアプローチ
14-15	ビジョン実現への道筋
16-25	WaterAidの戦略目標
26-27	より効果的な活動の実施
28-29	活動実績の評価
30-31	WaterAidの組織的發展
32-33	WaterAidの活動地域

掘削井戸のまわりに集まるバスベド村の子供たち - ブルキナファソ

WaterAid/Andrew McConnell

村を流れる、ゴミや排せつ物でいっぱいの小川を渡る女性 — インド、カムラ・ネール・ナガル

WaterAid/Jon Spaul



50 万人

安全な水・衛生環境が整っていないために、毎年 50 万人の子供たちが命を落としています²。

10%

世界人口の 10%が、安全な飲み水のない生活を送っています¹。

3 分の 1

世界で 3 人に 1 人が、適切なトイレのない環境で暮らしています¹。

はじめに

安全な水・衛生へのユニバーサルアクセスが実現しない限り、
 極度の貧困を終わらせることはできません。
 こうした基本的な公共サービスは、
 地球上に暮らすすべての人にとって
 健康で尊厳ある生産的な暮らしを営むために必要なもの、
 人としての権利なのです。



過

去 20 年の間に
 10 億人が極度の
 貧困状態を脱した
 ものの、少なくとも

世界人口の 10% の人々が、まだ安全な飲み水が手に入らない生活を送っており、3 人に 1 人は適切なトイレのない環境で暮らしています¹。その結果、毎年 50 万人の子供たちが命を落としています²。

このまったく受け入れがたい状況によって、計り知れない苦しみが引き起こされ、人間開発や持続可能な開発が妨げられています。なかでも女性たちは、その暮らしに大きな影響を受けています。水くみという過酷な労働を担い、水・衛生の不備が原因で病気になってしまった子供の世話をするのは女性だからです。また、学校にトイレがないために、勉強を途中であきらめざるを得ない少女たちも大勢います。

しかし今、未来に向けて、確かな希望の光が射しています。

2030 年までに極度の貧困を終わらせ、世界中の国々が力を合わせて格差を是正することを目指す国連の「持続可能な開発目標」が新たに策定され、国連加盟諸国は、この開発目標への取り組みを開始しました。

WaterAid は市民社会組織や政府機関、民間のパートナーと共に、この歴史的機会をとらえ、安全な水・衛生へのユニバーサルアクセスという共通のビジョンに向けて、より速やかに大きな変化を実現できるよう尽力しています。

30 年以上前にイギリス水道業界によって設立されて以来、WaterAid はパートナーと協力しながら、最も貧しく社会から取り残されたコミュニティで活動を続け、2,100 万人以上に安全な水を、1,800 万人以上に衛生設備を届けてきました³。

その間、水と衛生を専門とする世界最大の市民社会組織として、こうした基本的な公共サービスのないコミュニティが直面する問題と、その解決には何が必要かということについて、理解を深めてきました。

この WaterAid のグローバル戦略は、「協力」と「挑戦」を軸として、水と衛生の権利を求めるコミュニティを支援し、すべての人がすべての地域で、無理のない価格で十分な公共サービスを利用できるようにするために、政府機関や公共事業会社と共に活動していこうというものです。また、命を脅かす病気のまん延を防止し、人々の健康状態や生活環境の改善を図るため、衛生習慣の促進にも取り組んでいきます。

極めて重要なことですが、持続可能な開発を考えた場合、何を進めるにも基礎となるのは安全な水・衛生へのユニバーサルアクセスであり、WaterAidはこのユニバーサルアクセスを支持していきます。極度の貧困に終止符を打ち、すべての人、とりわけ女性と少女たちにとって、より健全で公平な、そして生産的な世界を構築すること—これは安全な水と衛生をすべての人が利用できるようになって、はじめて実現できるのです。このビジョンの実現に必要な変化を起こし、それを促進していくことに、WaterAidは重点的に力を注いでいきます。

これまでに WaterAid は様々な成果を上げてきましたが、それはすべて、熱心な支援者の方々の温かいご協力があってこそ実現できたことです。組織として誕生してから、長期にわたる持続的な変化に主眼を置く多角的な組織へと進化を遂げた今日に至るまで、WaterAid は常に支援者の皆様に支えられてきました。

2009 年以降、最も貧しく社会から取り残された人々への支援と持続可能性に重点を置き、1,000 万人以上に安全な水を、1,300 万人以上に衛生設備を届けることを目指したグローバル戦略 2009～2015 においても、WaterAid とパートナーを支援し続けてくださった皆様のおかげで目標を達成することができました³。そしてさらに何百万人もの人々に支援を届けるために、確かな根拠に基づいた WaterAid の政策提言・キャンペーン活動を通して各方面に広く働きかけることができました。

これまでの経験を自信に変えて、このたび WaterAid は、この意欲的な新しいグローバル戦略を始動することとなりました。これから 2020 年までの 5 年間、WaterAid はパートナーとの関係をさらに強化し、2030 年までにすべての人が、すべての地域で安全な水と衛生を利用できるようにするという目標に向けて、さらに歩みを速めていくことに専心してまいります。

¹ WHO/ユニセフ『水と衛生 共同モニタリング・プログラム (JMP)』2014 年報告書

² ユニセフ『子どもの生存を守る:あの約束を再び (Committing to Child Survival: A Promise Renewed)』2014 年進捗報告書 2014 年 9 月発行

³ これまでの WaterAid の年次報告書は <http://www.wateraid.org/jp/who-we-are/annual-reports> でご覧いただけます





村の近くの水たまりで孫娘たちと一緒に水をくむカタリーナさん — モザンビーク、ニアサ州クビール・ライーニャ村

WaterAid/Panos/Adam Patterson

ダッカのカレールはバングラデシュ最大のスラム地域。WaterAidのパートナーは、ここで暮らす人々と行政機関と力をあわせて、より多くの人々が安全な水と衛生を利用できるようにする活動に取り組んでいます

WaterAid/GMB Akash/Panos

2030年の予想人口

14億人

サハラ以南のアフリカ諸国



49億人

アジア



7億1600万人

ラテンアメリカおよびカリブ地域



機会と課題

現在、7億5,000万人が安全な水を利用できない生活を送り、25億人が衛生設備のない環境で暮らしています。

しかし、2030年までに格差を是正し
極度の貧困を終わらせることを宣言した
国連の「持続可能な開発目標」を
世界中の国々が支持している今、未来へ向けて、
確かな希望の光が射しています。

水

と衛生の危機によって毎年50万人の子供たちが命を落とし、サハラ以南のアフリカ諸

国はアフリカ全土が受ける開発援助よりも大きな犠牲を強いられています。基本的な公共サービスが欠如している今の状況が、人々の暮らしを破壊し、持続可能な開発の可能性を奪っているのです。

けれども今、それに対して国連が「持続可能な開発目標」を打ち出したことで、安全な水と衛生へのユニバーサルアクセス実現に向けて進展を加速する、これまでに前例のない大きなチャンスが生まれています。

世界が抱えるいくつもの大きな課題を前にして、この意欲的な目標を実現するには、強い決意と政治的意思、そして膨大なリソースと革新的な発想が必要です。

- 急速に進む都市化、人口増加、経済発展によって、水に対する需要が増加し、水を取り合う状況が生まれています。このままいくと、2030年までにサハラ以南アフリカの人口は14億人にまで増え、アジアでは49億人、ラテンアメリカとカリブ地域では7億1,600万人にまで膨れ上がります⁴。家庭のニーズを満たし、同時に農業、エネルギー産業、工業のニーズにも応えとなると、水資源管理の面だけでなく環境保護や廃棄物処理の面でも複雑で調整の難しい問題がたくさんあります。
- 公衆衛生を保つには、安全な水と衛生が欠かせません。こうした公共サービスがなければ、コレラやエボラのような命を脅かす病気がまん延する可能性が高くなり、感染症の被害が拡大してしまいます。
- 気候変動によって、今後ますます予測できない気象災害の発生が増加することが予測されます。洪水や干ばつ、水質汚染の被害を受けるのは、主に貧しい人々です。コミュニティで気象災害に強い水・衛生設備を整備すること、そして災害の被害を緩和する措置を講じることの重要性は、今後さらに高くなっていきます。

④ **資金調達**については、公的資金、民間からの資金とも大幅に増加することが、安全な水・衛生へのユニバーサルアクセス実現には必要になってきます。また、調達した資金は最もそれを必要としているところに投資し、健康、教育、環境に関するプログラムとの調整を図っていくことも不可欠です。

④ **社会的・経済的格差**は依然としてまん延しているだけでなく、最貧困層の人々が中所得国に増えるなかで、むしろ拡大しています。安全な水・衛生に対する権利の実現には程遠く、特に女性には厳しい状況となっています。格差を是正し、資源を公平に分配するという点に関しては、行政機関とそのパートナーが重要な役割を担っています。

④ **水・衛生に関する公共サービスを持続させ、衛生習慣を保つ**ことは、多くの開発途上国にとって非常に大きな課題となっています。人々が無理のない価格で利用できる適切な設備を運営管理する技能について、行政機関や公共事業会社がもっと注意を向けることが求められます。また、衛生状態が向上しない背景には衛生習慣の浸透を阻む重要な要素が潜んでいることが、往々にして見落とされています。

こうしたことを背景に、WaterAid のグローバル戦略では、変化を促すために、「利用機会の格差への対処」、「持続可能なサービスの強化」、「水・衛生を持続可能な開発に不可欠な分野の 1 つとすること」、「衛生習慣の改善」という互いに連動した 4 つの目標を設定しています。



部分的に干上がっている川床
でくんだ不衛生な水をポリタン
クで運ぶアリゼタ・バングレさん
— ブルキナファソ、インビナ

WaterAid/Andrew McConnell



給水設備メンテナンスの訓練をティカ・ガルティさんのような女性が受けることで、女性の雇用が促進され、給水サービスの持続可能性が向上しています — ネパール、バルディヤ地区

WaterAid/GMB Akash



援助効果向上の原則

WaterAid は、国際的合意が得られている援助効果向上の原則に沿って活動を行っています。

- 🔄 自助努力 (Ownership)
- 🔄 制度、政策への協調 (Alignment)
- 🔄 援助の調和化 (Harmonisation)
- 🔄 開発成果管理 (Results)
- 🔄 相互説明責任 (Mutual accountability)⁶

WaterAid のアプローチ

安全な水・衛生へのユニバーサルアクセスを実現できるかどうかは、なぜ社会的に取り残された最も貧しい人々がこうした基本的なサービスを受けられない生活を送っているのかという、その理由を明確にし、それを是正する取り組みを行えるかどうかにかかっていると、WaterAid は考えています。



WaterAid は、変化を起こし、持続的な成果を実現していくために、行政機関、市民団体、民間の様々なパートナーと共に活動しています。

そうしたパートナーと協力しながら、活動を行う国や地域の政治状況や経済状態、社会背景を分析し、公共サービスの提供、能力開発、調査研究、政策分析、さらには持続可能な変化を促すキャンペーン活動など、状況に応じて様々なプログラムを展開しています。WaterAid の活動プログラムは、人々の生活の改善と、持続可能な公共サービスに必要な体制の構築を促進するものです。

WaterAid では、人々が無理のない価格で利用できる持続可能な水・衛生サービスを実現していくためには、官民が行う投資と市民社会がすべて効果的に機能できる環境が必要であり、その環境を整える責任は行政機関にあると考えています。WaterAid は良心的な価格で持続的に需要を満たせるよう政府機関や公共事業会社に協力するとともに、安全な水と衛生に対する権利を求める市民社会やコミュニティと力を合わせて活動を行っています。

安全な水の必要性については、改めて喚起するまでもありません。ただ、水は日々命をつなぐために欠かせない貴重な資源であり、しっかりと管理していくことが必要です。

一方、衛生設備と衛生習慣については、場合によっては衛生推進活動や教育を通して、その必要性に対する認識を促進する必要があります。

これからの 5 年間で、WaterAid は以前から協力関係にあるパートナーや今後新しく協力関係を築いていくパートナーと共に、安全な水・衛生へのユニバーサルアクセスを 2030 年までに実現すべく、既に確立されている援助効果の原則に沿って、連携と協力というアプローチをとりながら活動を展開していきます。

約200人の女性が集まった市民
集会で、水と衛生についての懸
念を現地当局に訴えるナズニ
ン・ナハールさん — バングラデ
シュ、クルナ市パイガサ地域

WaterAid/Habibul Haque



ビジョン実現への道筋

安全な水・衛生へのユニバーサルアクセスというビジョンを実現するには、一定の条件が整っていないと WaterAid は考えます。WaterAid が描く未来は以下の条件が満たされた世界であり、そのビジョンにむけて進展を加速するために、WaterAid は戦略目標を設定しています。



リーダーシップ

地域レベルから世界レベルまで、コミュニティから国連まで、社会のリーダーたちが安全な水と衛生へのアクセスを最優先課題としてとらえ、特に社会から取り残された最も貧しいコミュニティの権利を重視すること。

活発なコミュニティ

コミュニティが自ら安全な水と衛生に対する権利を求め、自分たちのリーダーの責任を問うとともに、衛生的な環境を保つように努め、公共サービスの維持に貢献すること。

公平

行政機関と公共事業会社がすべての地域住民に対する義務を果たし、良心的な価格で効率的かつ十分な水・衛生サービスを提供できるようにすること。

持続可能性

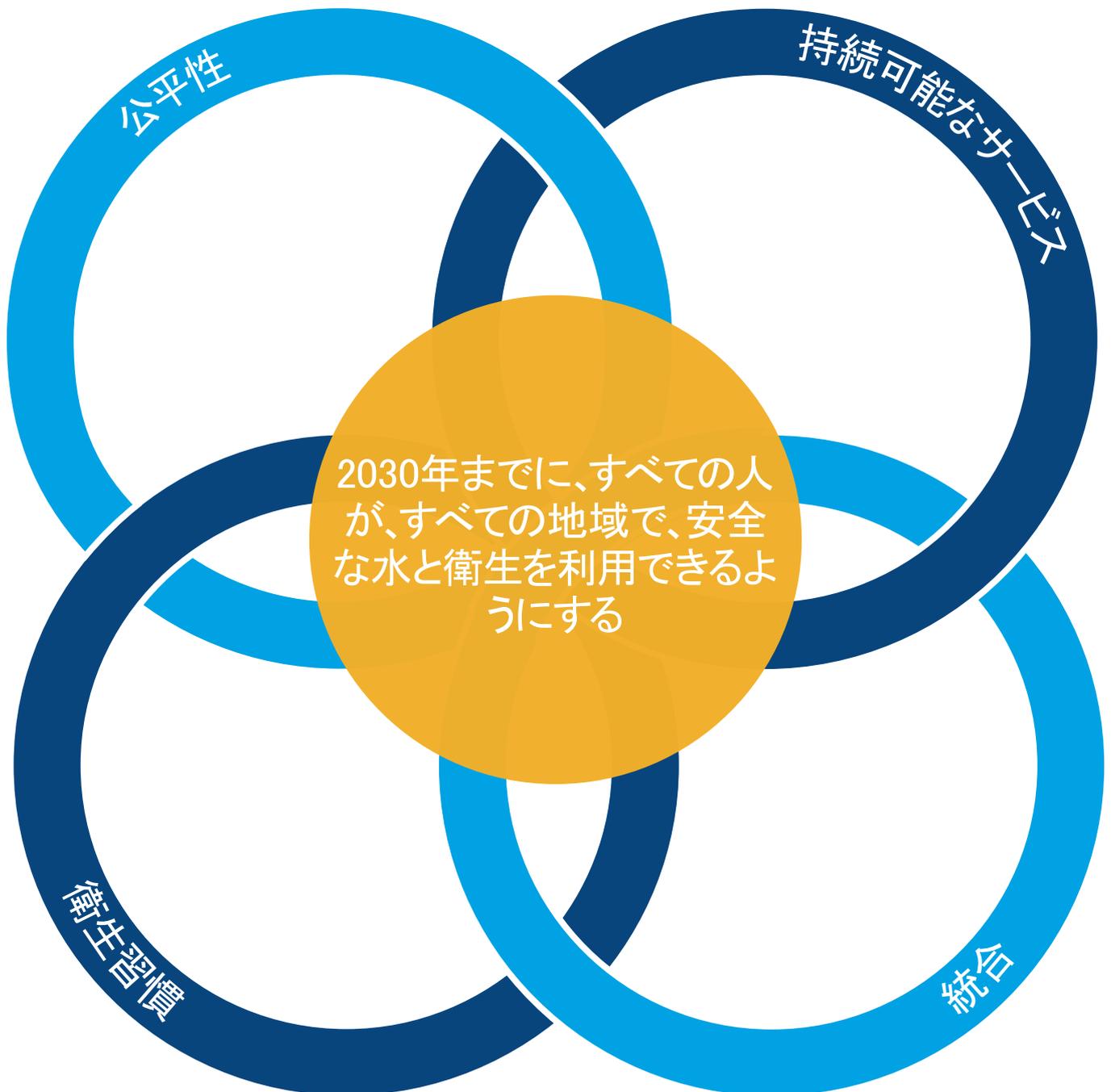
水・衛生サービスを提供し、半永久的に維持していくために必要な技能、リソース、体制を、公共事業会社が確保すること。

統合

持続可能な開発の鍵を握る分野、特に水、健康、教育、環境のセクターで、政策やプログラムのなかに安全な水・衛生へのユニバーサルアクセスが組み入れられること。

WaterAidの戦略目標

WaterAidでは、どうすれば最も効果的に変化を促進できるかという考察に基づいて、4つの戦略目標を設定しています。



WaterAid の戦略は、すべての人が、すべての地域で、2030 年までに安全な水と衛生を利用できるようにするというビジョンに向けて、様々なパートナーと協力・連携していくなかで、WaterAid がリーダーシップを発揮していこうという姿勢に立って策定されたものです。

WaterAid の戦略目標は、相互に連携・補完しあうものであり、活動する国の状況や地域性に応じて優先順位付けとリソースの調達を行っていきます。

公平性

最も貧しく社会的に取り残されている人々が安全な水・衛生に対する権利を実現する妨げになっている格差に立ち向かい、その是正に取り組みます。

持続可能なサービス

持続可能な水・衛生サービスの実現に必要な体制と能力を強化するために、行政機関と公共事業会社をサポートします。

統合

持続可能な開発の一環として水と衛生の問題を統合した計画や活動を展開することで、変化を加速できるよう各方面と協力します。

衛生習慣

安全な水・衛生を利用できることのメリットを最大限に活かせるよう、衛生習慣改善の働きかけを積極的に行います。

格差の削減

目標: 最も貧しく社会的に取り残されている人々が安全な水・衛生に対する権利を実現する妨げになっている格差に立ち向かい、その是正に取り組みます。

利用機会の格差を削減する

水・衛生サービスが提供され、衛生習慣が促進されていても、最も貧しく社会的に取り残された人々にはそれが届かないということがよくあります。利用機会を得られないことで生活に最も深刻な影響を受けるのは女性や少女たちです。そうした人々の権利は往々にして見落とされ、基本的なサービスを利用できないために、さらに社会から取り残され、締め出されてしまうのです。

資源分配の格差を削減する

1国の中で資源が不適切・不平等に分配されると、最も必要としている人々に行き届かないこととなります。



車椅子対応トイレの外で、「ティップータップ」を使って手を洗うマーガレット・アマングさん — ウガンダ、アムリア、ボボル村

WaterAid/Eliza Deacon



WaterAid の 今後の活動

- ④ 国家間や 1 国内で、安全な水・衛生の利用機会に格差が生じていることについて、その根本的原因の存在を明確に示し、その格差を是正する責任を負っている人々に働きかけを行っていきます。
- ④ 女性や最も貧しく社会から取り残されている人々の、安全な水と衛生に対する権利を促進する諸機関と、協力して活動していきます。
- ④ 社会から取り残された人々の様々なニーズに応えることのできる、ジェンダーに配慮した包括的な計画・手法を実践していきます。

持続可能な サービスの強化

目標: 持続可能な水・衛生サービスの実現に必要な体制と能力を強化するために、行政機関と公共事業会社をサポートします。

体制を強化する

無理のない価格で利用できる持続可能な水・衛生サービスが体制的に保証されていないために、極度の貧困の中に取り残された生活を送っている人々が何百万人もいます。持続可能なサービスを提供できるかどうかは、行政がうまくいっているかどうか、技術的専門性と管理技能、十分なリソースがあるかどうか、財務管理ができているかどうか、適切な技術があり技術革新のチャンスがあるかどうか、といったことにかかっています。また、行政機関は、投資と説明責任がしっかり機能する環境を整備する責任も負っています。

計画を強化する

すべての地域住民にサービスを拡大し、それを持続するためには、行政機関がしかるべきリソースを確保して、しっかりとした計画、実施、モニタリングの体制を国の開発計画の一環として整備していく必要があります。





掘削井戸に水位モニター装置を差し込んで検査するWaterAidスタッフのルシアン・ダミバさん（左）と現地自治体担当者のエドモンド・ウエドラオさん — ブルキナファソ、バスベド

WaterAid/Andrew McConnell

WaterAid の 今後の活動

- ④ 行政、財務、組織、環境、技術の面で適切な能力と体制が整備され、社会から取り残されがちな人々に支援が届けられるよう、特に女性と子供たちに重点を置いた活動をパートナーと協力して展開していきます。
- ④ コミュニティ、地区、町、都市のレベルで計画的な活動を行い、WaterAid のパートナーへの投資を通じて持続可能なサービスを提供し、効果的な解決策を示して革新を促していきます。
- ④ WaterAid の活動を通して培った経験的根拠に基づいて、国の戦略策定に対する働きかけや情報提供を行うとともに、計画、実施、モニタリングの体制強化をサポートします。

持続可能な 開発への統合

目標: 持続可能な開発の一環として水と衛生の問題を統合した計画や活動を展開することで、変化を加速できるように各方面と協力します。

水と衛生の問題を 貧困解消活動に統合する

母子の健康、女性の地位、教育、栄養、食の安全、住居、都市計画。そのいずれを取っても、改善を図るには安全な水と衛生が必要です。様々な需要が競合するなか、家庭用の水・衛生を公平に利用できるようにし、衛生環境の向上を促進するうえで、行政機関は主導的役割を担う責任があります。

水と衛生の問題を 水資源と廃棄物の管理に統合する

様々な用途に使われている水資源を持続可能なかたちで管理することによって健康と発展を促進し、未処理の農工業廃棄物や排せつ物による環境汚染を低減していくためには、行政機関、民間セクター、市民団体が共通の関心を持って、包括的な計画策定と「持続可能な開発目標」の実現に取り組む必要があります。



WaterAidのパートナーが新しい給水設備とトイレ、洗濯設備、焼却炉を設置したばかりのムラリ診療所で、新米ママと赤ちゃんたちを診察する看護師のムワミニ・フツシさん — タンザニア、モロゴロ

WaterAid/Eliza Deacon

WaterAid の 今後の活動

- WaterAid の活動国で状況分析を強化することによって、新たなパートナーを見つけ、働きかけを通して変化を加速する機会を見いだしていきます。
- 安全な水・衛生へのユニバーサルアクセスが果たす役割を擁護し、他のセクターで策定される計画に安全な水・衛生へのユニバーサルアクセスが組み入れられることを提唱していきます。
- 地域レベルから世界レベルに至るまで、行政機関、市民社会、民間セクターと協力し、持続可能な開発と安全な水・衛生の利用を促進していきます。

衛生習慣の改善

目標: 安全な水・衛生を利用できることのメリットを最大限に活かせるよう、衛生習慣改善の働きかけを積極的に行います。

衛生習慣の理解と改善を促進する

一般的な病気のまん延を防ぐ方法として最も効果の高いのが、正しい衛生習慣を普及させることです。しかし、野外で排泄したり、排せつ物を不適切な方法で処理したり、食品や水の取り扱いが非衛生的といったような、安全性を欠いた習慣が定着してしまっている場合には、様々なアプローチで衛生習慣を促進しようとしても、失敗に終わることが多々あります。衛生習慣を改善し、それを持続させていくためには、革新的なアプローチが求められます。

衛生習慣を改善できる環境を整える

衛生習慣を改善する必要性が認識されていたとしても、トイレの作りが悪かったり、安全な水や石けんがないといった要因のために、清潔な環境がなかなか整備できず、健康を促進できないことがあります。特に女性と少女たちは、機会、健康、尊厳の面で、その影響を大きく受けています。

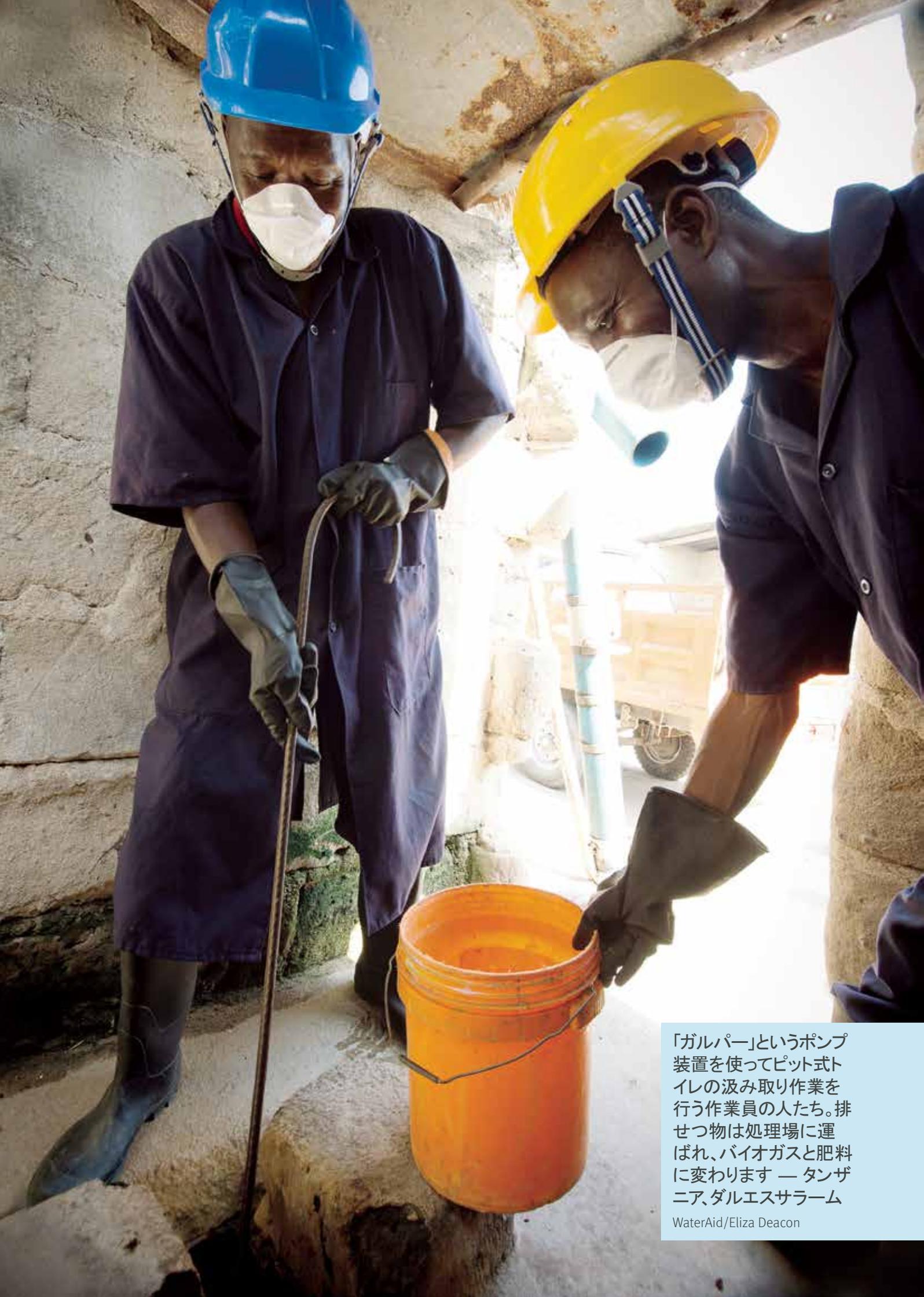


衛生講習会での手洗いの実演 — バングラデシュ、マイメンシ

WaterAid/DRIK/Habibul Haque

WaterAid の 今後の活動

- ④ 様々な女性団体や健康、環境、教育、マーケティングといった分野のパートナーと協力し、衛生習慣の効果的な改善や衛生キャンペーンの支援・実施を行います。
- ④ 行政機関、公共機関、市民社会のパートナーに協力し、その現場における衛生習慣の改善や適切な水・衛生設備の確保をサポートしていきます。
- ④ 国家が衛生に関する政策、戦略、体制を整備し、実施、モニタリングすることを提唱・支持していきます。



「ガルパー」というポンプ装置を使ってピット式トイレの汲み取り作業を行う作業員の人たち。排せつ物は処理場に運ばれ、バイオガスと肥料に変わります — タンザニア、ダルエスサラーム

WaterAid/Eliza Deacon

より効果的な活動の実施

新しいグローバル戦略で設定された4つの戦略目標を達成するために、WaterAidは5つの重点エリアに集中して活動していくことが必要となります。



意思決定機関への働きかけ

長期にわたって持続可能なかたちで、安全な水・衛生サービスの供給状況が改善されていくよう働きかけを行うこと。これはWaterAidのどんな活動にも欠かせません。このグローバル戦略期間中、WaterAidはこの働きかけの効果を最大限に高められるような活動プログラムの策定に、特に力を注いでいきます。調査や実際的な経験に裏付けられた根拠を示しながら、行政機関、公共事業会社、諸機関が安全な水・衛生を良心的な価格で効果的に提供することを優先課題とするよう、働きかけを行っていきます。また、地域規模や世界規模でのキャンペーンを実施するとともに、説明責任を果たしつつ同様の働きかけを行う市民団体のキャンペーンもサポートしていきます。

持続性

長期にわたって持続的に活動を続けていくために、体制の整備やリーダーシップ、管理能力、技術力の向上を図り、WaterAidの組織としての能力を強化するとともに、諸パートナーの能力強化にも協力していきます。

WaterAidの経験をパートナーらと共有し、またWaterAid以外の経験から学ぶことによって、WaterAidの活動をより効果的なものとしていきます。

能力開発

パートナーが持続的なサービスを提唱、提供、維持するために必要なスキルや体制を開発・整備するサポートを行っていきます。また、パートナーによるモニタリング、評価、調査への投資も支援することにより、何をどうすればうまくいくのかをWaterAidとパートナーが共に実証していけるようにします。

パートナーシップ

協力的なパートナーシップに立った活動は、持続的な変化を起こし、WaterAidの4つの戦略目標を達成するための基礎となるものです。WaterAidは、タイプの異なる様々な市民社会、民間セクター、行政機関といったパートナー組織と協力し、必要に応じてサポートやリソースを提供していきます。そうしたパートナーによる活動の影響力と有効性こそが、WaterAidのビジョン達成に向けての基礎となります。

災害からの復興

WaterAidは災害対応機関ではありませんが、活動地域で自然災害の発生頻度が増加していることから、災害回復力の高い水・衛生サービスの開発に取り組むパートナーを支援していきます。また、緊急事態や自然災害の発生時、WaterAidが活動する地域で水・衛生に被害が及ぶ場合に対応できる能力の強化も図っていきます。

環境への配慮

持続可能な開発を促進しつつ、環境への影響を最小限に抑えるために、WaterAidの組織内でも、またパートナーとの活動においても、活動方法の継続的なモニタリングと改善に必要な体制を整備し、実践していきます。



ムラリ診療所で
赤ちゃんの体重
を測る看護師の
ファツマ・ムシャ
ナさん — タンザ
ニア、モロゴロ

WaterAid/Eliza Deacon

活動実績の評価

WaterAid は、調整のとれた世界的な取り組みや地域レベルの持続可能な解決策が求められる複雑な世界で活動しています。

WaterAid の活動実績を評価することは、すなわち成功と失敗から学ぶことであり、それを他の人々と共有できるということでもあります。



WaterAid は、その活動を通して、様々な組織の取り組みに世界規模で貢献しています。変化を支える要因には複雑に絡み合った様々なものがありますが、実績評価というアプローチをとることで、WaterAid はそうした要因を反映して体制やプロセスをシフトさせていくことが可能となります。

WaterAid では、国連や各国の進捗報告、カバレッジ・データといった、進捗状況の測定指標として国際的に認められたグローバル指標と各国の指標を用い、すべての人の安全な水・衛生に対する権利の実現に向けて、進捗状況の評価を行います。

実績については、コミュニティやパートナー、スタッフ、支援者の方々、行政機関、その他関係者に対して説明責任を負い、寄せ

られたフィードバックに応じていきます。

世界レベルでは、このグローバル戦略で策定されたアプローチについて、最大限の変化を達成するうえでの妥当性と有効性を考察します。そうすることで、以下の 3 つの重要エリアにおいて、WaterAid がどのように変化を促すことができたかを、より詳細に把握することが可能となります。

- 🔹 国際レベル、地域レベル、国レベルで、安全な水・衛生が基本的人権として約束されること。
- 🔹 開発に携わるパートナー、行政機関、民間セクター、市民社会が、持続可能なサービスの実現に協力して取り組むこと。

- 🔹 最も貧しく社会から取り残された人々のニーズを優先した給水設備、衛生サービスへの投資にリソースを割り当てること。

国レベルでは、それぞれの状況に応じた戦略や計画を策定し、その国の基準や WaterAid の戦略的事業計画に照らして成果報告を行います。

活動レベルでは、承認されている計画と予算に対する進捗状況報告をマネジメントチームが行います。



Team

 **WaterAid** 

WaterAidのニカラグアチームはパートナーと協力しながら、ロープポンプや雨水集水装置、エコトイレの設置・維持のほか、新しい井戸の掘削、古い井戸の修理など、毎年何千人もの人々をサポートする活動を行っています。

WaterAid/Rodrigo Cruz

WaterAid の組織的發展

**WaterAid はこれからも、自らが定めた価値基準を守り抜く
グローバルな組織として、力強く成長を続けていきます。**

**多様性を力に変えて、
人間中心のダイナミックな活動を展開していきます。**

**ミッションの達成に向けて
最も効果が高いと考えられる国々に、
新たに WaterAid の組織を設立していきます。**



スタッフと組織文化

WaterAid は、このグローバル戦略を実現するために、WaterAid の強みとスタッフの大きな可能性を活かして、連盟制をとっている WaterAid の組織を発展させていきます。また、WaterAid の価値基準に立脚した組織文化をさらに醸成し、リーダーシップやマネジメント能力の向上、スキル開発、スタッフ・エンゲージメントに対する投資を行っていきます。

WaterAid の理事会、スタッフ、ボランティアチームについては、多様性の促進を図ります。

WaterAid の有効性をさらに高めるために、創造的に思考し、革新し、リスク管理を行いながらリスクを取ることを自らに課していきます。

このグローバル戦略で求められていることを WaterAid のスタッフとパートナーが実現できるようにするために、さらに体制とプロセスを整備していきます。

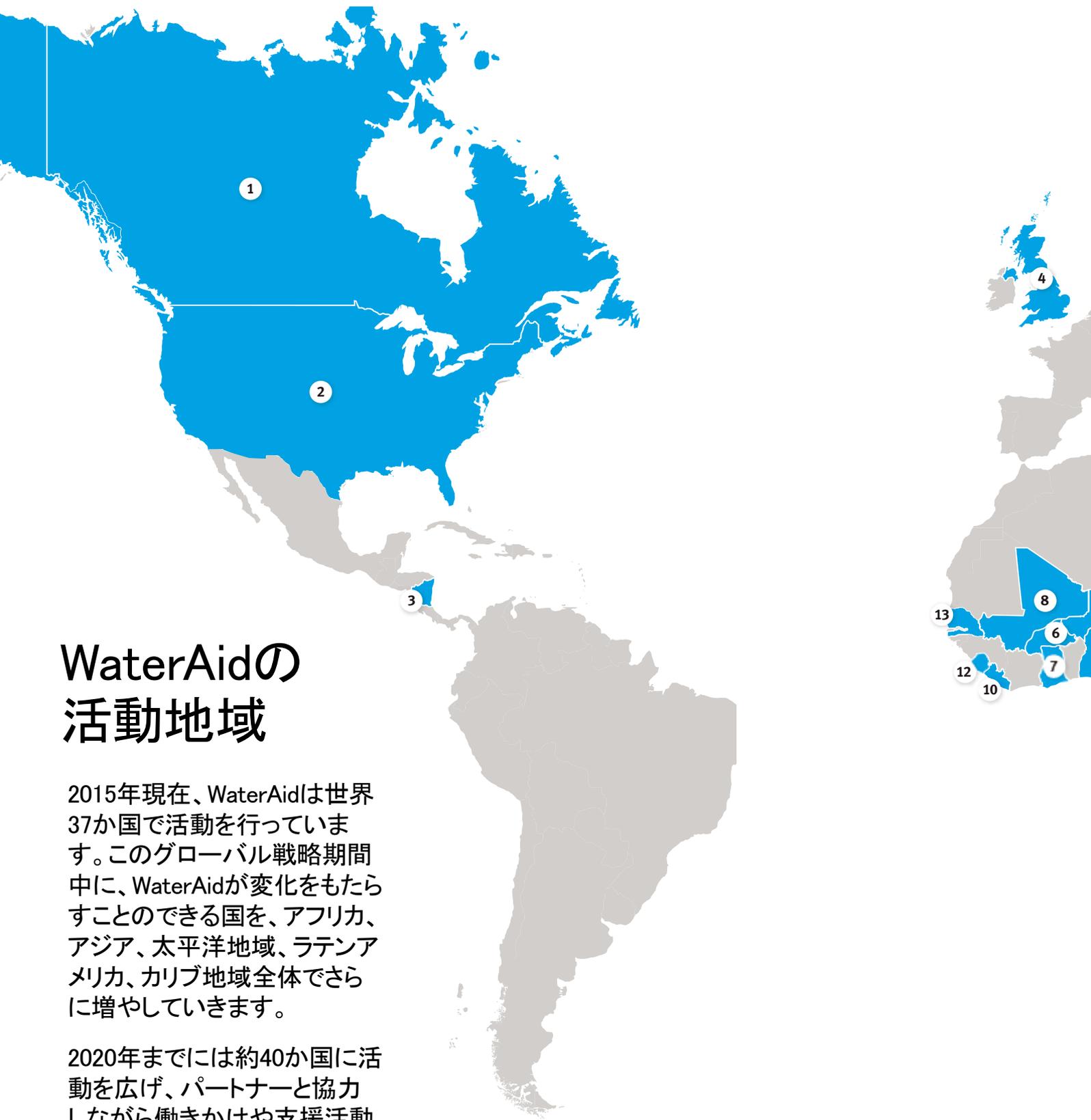
ガバナンス

連盟を構成する各国 WaterAid の理事会は、グローバルな組織全体から多様なスキルと視点を取り入れながら、今後も進化を続け、WaterAid の戦略実現をサポートしていきます。

また、最高水準のグローバル・ガバナンスと説明責任を確保し、WaterAid が支援する人々、パートナー、そしてスタッフの声を反映した活動を続けていきます。

成長

WaterAid は、ビジョンを実現するために必要な変化を起こすべく、全力を尽くしていく所存です。その志に従って、統制のとれた成長に向けて努力し、WaterAid が国レベルや世界レベルで展開する様々な計画を実現するための新たなパートナーシップと財源を模索していきます。資金調達 のしやすさや数値目標にとらわれないことなく、社会から取り残されがちな人々を支援することのできる、持続可能で質の高い活動を行っていきます。

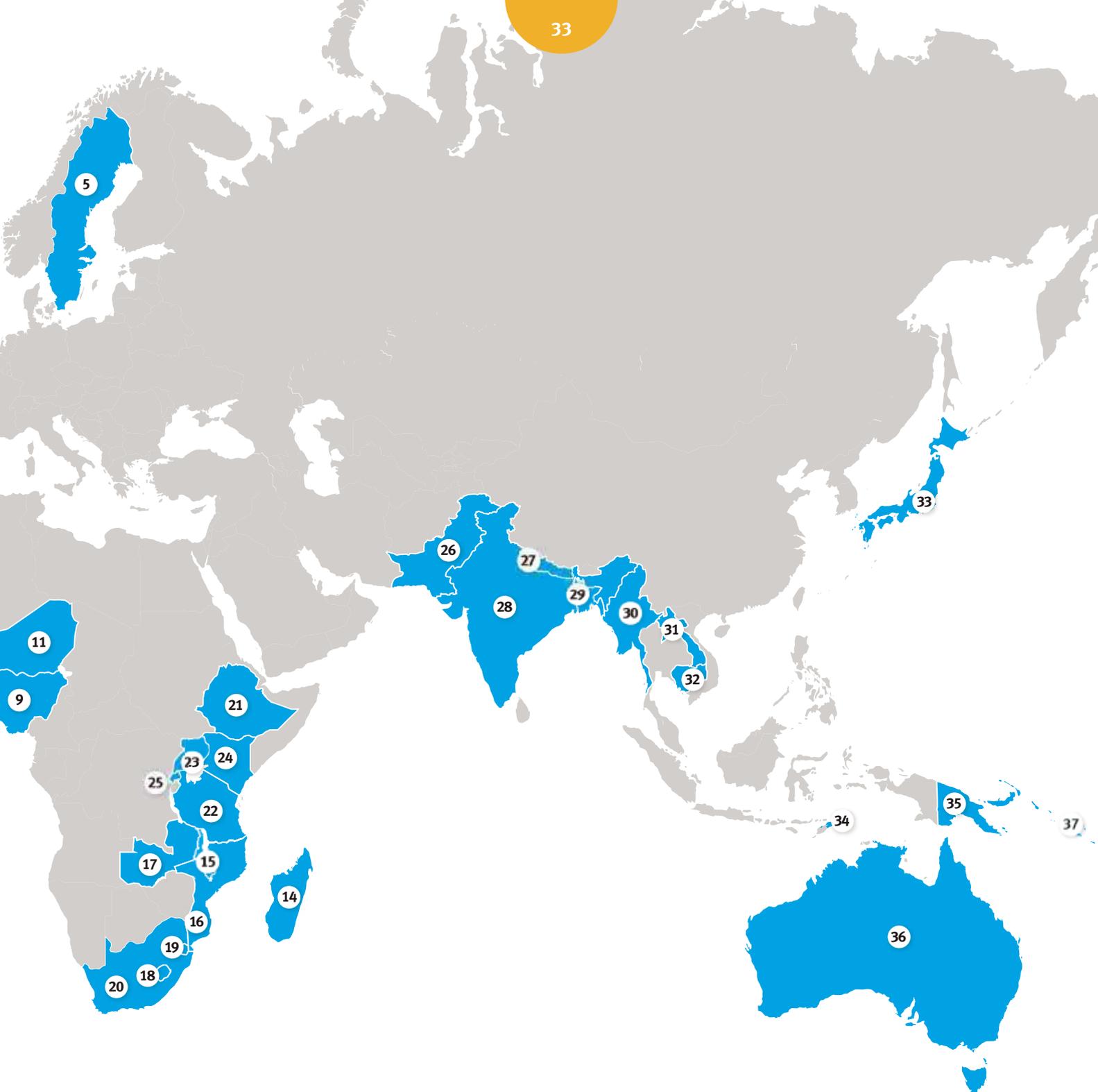


WaterAidの 活動地域

2015年現在、WaterAidは世界37か国で活動を行っています。このグローバル戦略期間中に、WaterAidが変化をもたらすことのできる国を、アフリカ、アジア、太平洋地域、ラテンアメリカ、カリブ地域全体でさらに増やしていきます。

2020年までには約40か国に活動を広げ、パートナーと協力しながら働きかけや支援活動を行って、さらに数百万人の暮らしを改善していく見込みです。

また、活動を展開している国々にとどまらず、グローバルな組織として、世界中で変化を促す働きかけを行っています。



- | | | | | |
|-----------|-----------|-------------|------------|--------------|
| 1 カナダ | 9 ナイジェリア | 17 ザンビア | 25 ルワンダ | 33 日本 |
| 2 アメリカ | 10 リベリア | 18 レソト | 26 パキスタン | 34 東ティモール |
| 3 ニカラグア | 11 ニジェール | 19 スワジランド | 27 ネパール | 35 パプアニューギニア |
| 4 イギリス | 12 シエラレオネ | 20 南アフリカ共和国 | 28 インド | 36 オーストラリア |
| 5 スウェーデン | 13 セネガル | 21 エチオピア | 29 バングラデシュ | 37 ソロモン諸島 |
| 6 ブルキナファソ | 14 マダガスカル | 22 タンザニア | 30 ミャンマー | |
| 7 ガーナ | 15 マラウイ | 23 ウガンダ | 31 ラオス | |
| 8 マリ | 16 モザンビーク | 24 ケニア | 32 カンボジア | |

「水が来た！」喜びに沸くニヤーマ村 シエラレオネ

WaterAid/Anna Kari







2030年までに、すべての人が、
すべての地域で、安全な水と衛生を
利用できるようにするために —
ぜひご支援をお願いいたします。